

# 勝央町水道事業 経営戦略(概要版)

## 1. 経営戦略の概要

平成 29 年に勝央町水道事業経営戦略を策定してから 5 年が経過し、水道事業を取り巻く環境が大きく変化していることや受水 2 地点化などの事業計画に大幅な変更が生じたことから、計画期間を新たにした経営戦略を策定します。

計画期間は、令和 4 年度から令和 13 年度までとします。

## 2. 水道事業の現状

岡山県広域水道企業団からの全量受水により安定供給を行っています。

更新事業の推進により耐用年数を超過した管路の割合は減少しており、漏水の低減および耐震化も進めています。施設の老朽化が進んでいる状態です。

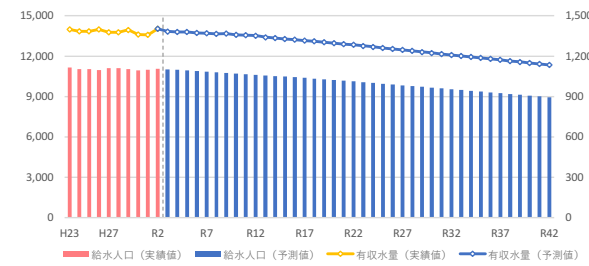
経営状況については、一般会計からの基準外繰入により資金水準を維持していますが、受水費等の経常支出により経営が圧迫されている状態です。また、企業債と国(県)庫補助金を活用して事業を進めています。

## 3. 将来見通し

### ■ 給水人口・水需要の見通し

人口減少社会の到来および少子高齢化の進行により、本町の給水人口は緩やかに減少する見込みです。

それに伴い、年間有収水量も同様に減少する見込みとなっています。



### ■ 施設の見通し

老朽化する施設および管路の増加に伴い、更新需要の増大が見込まれます。

## 4. 投資・財政計画

### ■ 投資計画

#### ① 水道管路緊急改善事業

比較的管路が大きく、事故が発生した場合に影響範囲の広い管路を基幹管路とし、これらを今後予想される大規模災害に備え、計画的に耐震化を図っています。2025 年度に基幹管路の耐震化率 57.8%を目標としています。

#### ② 配水池の更新

2024 年度に神五郎配水池、2028 年度に七十配水池の更新を予定しています。神五郎配水池については、岡山県広域水道企業団からの受水地点として整備することで、安全性を向上します。

#### ③ その他の施設整備

低水圧および高水圧の解消事業や補助対象外の管路の更新事業を行います。

(単位：百万円)

区分	経営戦略の計画期間（10年間）									
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
管路更新	71	20	36	36	56	38	39	78	82	81
配水池更新	0	19	197	0	0	15	66	0	0	0
その他整備	51	15	29	40	13	38	10	10	10	10
計	122	54	262	76	69	91	115	88	92	91

### ■ 財政計画

#### ① 2025 年度に有収率 80%目標

本町では比較的漏水量が多く、きれいな水を有効に使いきれていない状況であるため、古くなった管路を更新し、漏水量の低減を図ります。

#### ② 資金残高の確保

今後発生が予測されている大規模災害等の発生に備え、当面の事業経営が可能となる資金残高(内部留保資金)を確保します。

#### ③ 国(県)庫補助金の活用

水道管路緊急改善事業は国庫補助対象となるため、当該管路の更新には補助金を活用します。

#### ④ 企業債の活用

世代間負担の公平化を考慮して適切に活用します。

#### ⑤ 一般会計繰入金の活用

本町では、一般会計からの繰入金により料金水準を維持していますが、将来的にはこの繰入金について解消する必要があります。

## 5. 効率化・健全経営化の取り組み

### ■ 投資の合理化

広域連携の可能性について検討を継続するとともに、民間委託などを活用し、経費削減、組織体制の強化を目指します。

また、施設・設備については廃止や統廃合、スパックダウン、ダウンサイジングなどを検討することで投資費用の削減および維持管理費の低減を図ります。

### ■ 経営基盤の強化

企業債借入の際は、将来世代にかかる負担を考慮して、適正な水準を維持するよう努めます。

また、計装機器のクラウド化による通信量の削減や人材育成および水道技術の維持・継承などに努めます。

## 6. 計画の進捗管理

PDCA サイクルの考えに基づき、毎年度進捗管理を行い、3～5 年毎に見直しを実施します。

また、社会情勢・環境の変化や事業計画の変更など、状況が大きく変化した際には、計画期間内であっても再度内容を検証し、必要に応じて見直しを行います。

